

住宅ローン利用者の実態調査結果

<住宅ローン利用予定者調査（2024年10月調査）>

（概要）

I 調査の概要

今後5年以内に住宅ローンを利用して住宅を取得する計画がある方を対象に、住宅取得に向けた意識や希望する住宅ローン等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

（参考）調査実施時期：2024年10月31日～11月11日、回答数：1,500件

II 調査結果の主なポイント

<p.> は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 住宅の買い時意識 <p.9>

— 今後1年程度を買い時と思う割合が半数以上 —

「買い時と思う」「どちらかという買い時と思う」：54.4%

（最も多い理由）「住宅ローン金利が上がりそう」：42.0%

「買い時とは思わない」「どちらかという買い時とは思わない」：45.6%

（最も多い理由）「住宅価格が高い」：56.1%

2 希望する住宅ローンの金利タイプ <p.15>

— 「全期間固定型」が1.7ポイント増加 —

「変動型」：38.7%（2024年4月調査比 ▲1.4%）

「固定期間選択型」：33.3%（2024年4月調査比 ▲0.3%）

「全期間固定型」：28.0%（2024年4月調査比 +1.7%）

3 日本銀行の金融政策変更の影響 <p.10,17>

— 約6割が「住宅取得計画」「住宅ローン選択」に関して変化があったと回答 —

<住宅取得計画への影響>

「変化あり」：58.2% 「変化なし」：33.0%

（変化の内容）「住宅予算を減らす方向で考えている」：18.4% 等

<住宅ローン選択への影響>

「変化あり」：62.5% 「変化なし」：27.5%

（変化の内容）「借入額を減らす方向で考えている」：21.9% 等

4 賃上げの見通し <p.11>

— 今後の収入について、約3割が「増加する見通し」と回答 —